

学校教育目標：心やさしく 進んで学び たくましく生きる子どもの育成

ある日の出来事①

ちょっとしたことですが・・・

昨日の昼休みのことです。急に雨が降ってきました。外に掲揚している国旗、校旗が濡れてしまうので、気づいた職員がすぐ旗を降ろしに行きました。そのすぐ後に、二人の6年生が職員室へやってきました。「旗を片付けてくださってありがとうございます。」と言いに来たのです。

その時間、子ども達は体育館で長縄跳びの練習をしていました。体育館の屋根をたたく雨音に気づき、「旗を降ろさなきゃ」と思って行ってみたところ、先に職員が降ろして片付けたことに気づいたようです。

国旗と校旗は、毎朝夕、高学年の子ども達が交代で掲揚と降納をしてくれています。日中、途中で雨が降ってきた時は、いつも降ろしに行ってくれています。今回は体育館にいた為、たまたま子ども達の行動より、職員室にいた職員が降ろしに行く方が早かったのです。

そんな経緯があった上での6年生二人の行動でした。職員室にいた私達はそんな二人の行動に感心し、そして大変嬉しく、いい気持ちになりました。

◇雨に気づいた時点で、「旗を降ろしに行かなくては・・・」という事にも気づき、すぐ行動に移したこと。（責任感・行動力）

◇先生方が降ろしていたことに対して感謝の気持ちを持ったこと。（感謝）

◇そのことで職員室まで来て、旗を降ろした職員に礼儀正しくお礼を言い、感謝の気持ちを伝えたこと。（礼儀・感謝）

ちょっとしたことかもしれませんが、だからこそ、誰に指示されるでもなく、自分で考え、自分で判断し、当たり前のように自然にこんな行動が出来る子ども達に育っていることをとても嬉しく思うのです。日々のこんな小さなことの積み重ねがその人を、その人の価値観や人柄、人格、生き方などをつくっていくのだと思います。そう思いませんか？

めっちゃめっちゃ飛行中！

ある日の出来事②

校長室へのお客様

放課後、校長室のドアをノックする音。誰かと思ったら1年生の大和さんでした。大和さんはバス通学。帰りのバスは4時過ぎなので、待ち時間を学校で、勉強したり遊んだりしながら過ごしています。今回は校長室を訪れてくれました。中へ入ってきた大和さんの手にはなにやら長いひもが・・・。

「あやとり」のほうきの作り方を教えてほしいのだそうです。ああ、残念、無念。私は作り方を知りません。「ごめんなさい。先生は分からないけど、職員室へ行って教えてくださいって言ってみてご覧」と他の先生へと丸投げしてしまいました。

予想通り、職員室には教えることが出来る先生がいました。写真は、教えてもらってできるようになった「ほうき」を自慢げに見せに来た時の様子です。満足したニッコリ笑顔、いいですね。もちろん、私はこの後、大和先生にやり方を教えてもらいました。



長縄跳び練習継続中！

